

# 病院に勤務する男性看護師の困難感の認識

前田 貴彦<sup>1)</sup>、古川 陽介<sup>2)</sup>、上杉 佑也<sup>1)</sup>、藤本 泰博<sup>3)</sup>、辻本 雄大<sup>4)</sup>、平田 研人<sup>5)</sup>、田中 喜彦<sup>6)</sup>、岩下 悠<sup>7)</sup>

1)三重県立看護大学、2)名古屋市立大学病院、3)聖マリアンナ医科大学病院、4)奈良県立医科大学附属病院、5)天理よろづ相談所病院、6)上尾中央専門学校、7)名古屋市立大学大学院看護学専攻博士前期課程

## 研究目的

各部署に配属される男性看護師は、女性看護師に比べ少数である。そのため、相談相手やモデルとなる男性看護師が身近におらず日々の業務やキャリアについて悩むこともある。また、男性看護師との理由で女性患者にケアを断られ無力感を感じたり、対応に困ったりすることもある。さらに、女性看護師と共通理解を図ることに難しさを感じている者もいる。そこで今回、男性看護師の困難感に対する認識および背景との関連について明らかにすることを目的とした。

## 方法

**対象:** 全国の病院で、複数(2診療科以上)の診療科を有する施設から層化無作為抽出した950病院の内、本研究に協力の得られた422病院に勤務する男性看護師8,105名。

**調査方法:** 平成27年10月~平成28年3月に、無記名の選択式自記式質問紙調査を実施し、回答者自身による返信とした。

**主な調査内容:** 年齢や臨床経験年数、所属部署・病棟の男性看護師数等の基本属性、男性看護師の困難感に関する46項目を5件法(そう感じる:5点-そう感じない・経験したことがない:1点)で測定した。男性看護師の困難感に関する項目は、先行研究結果の検討や研究メンバーで討議を繰り返し決定した。

**分析方法:** 各項目の無回答を除き、基本統計ならびに背景要因との関連を検討するためt検定および一元分散分析(多重比較)を実施した。年代(20歳代、30歳代、40歳代、50歳代以上)、臨床経験年数(1-2年目、3-5年目、6-10年目、11年目以上)ともに4群に分けた。男性看護師数は(1名、2-3名、4-5名、6-10名、11名以上)の5群に分けた。

**倫理的配慮:** 研究代表者が所属する倫理審査会の承認を得て実施した。なお、質問紙の返送をもって同意とみなした。

## 結果

### 回答者の概要

**回答者:** 3,224名(回収率39.8%) 有効回答: 3,216名 **平均年齢:** 33.81±8.05歳 **平均臨床経験年数:** 9.98±7.35歳  
**病床数:** 300-500床未満 1,224名(38.1%)、500-700床未満 717名(22.3%)、150-300床未満 686名(21.3%)

### 男性看護師の困難感(46項目中上位10項目)

項目(1-5位)	平均値	項目(6-10位)	平均値
女性患者に羞恥心を伴うケアや処置を行う際、患者が不快な気持ちになるのはと、気がかりである	4.20	女性看護師に、女性患者のケアや処置の交代を依頼することに申し訳なさを感じる	3.12
看護師の給料体系で生計を立てているか不安を感じる	3.58	女性看護師の気持ちを汲み取ることに難しさを感じる	2.97
訪室時、女性患者の更衣や授乳場面といった身体露出を伴う場面に遭遇した際、対応に困る	3.29	男性看護師との理由で、女性患者に羞恥心を伴うケアや処置を断られた際、対応に困る	2.94
体力的にこの先も看護師を続けていけるか不安を感じる	3.25	男性看護師が使用する休憩室や更衣室、トイレなどの立地や設備に不便を感じる	2.93
男性看護師として今後どのような道に進めばよいか悩む	3.18	女性看護師に、男性看護師の意見を理解してもらうことに難しさを感じる	2.87

### 年代別および臨床経験年数別での比較

項目	20歳代 1-2年目	30歳代 3-5年目	40歳代 6-10年目	50歳代以上 11年目以上	年代別・経験年数別比較結果
女性患者に羞恥心を伴うケアや処置を行う際、患者が不快な気持ちになるのはと、気がかりである	4.32 4.15	4.20 4.22	4.14 4.21	4.07 4.19	年代: n.s 年数: n.s
訪室時、女性患者の更衣や授乳場面といった身体露出を伴う場面に遭遇した際、対応に困る	3.34 3.30	3.28 3.36	3.22 3.29	3.19 3.24	年代: n.s 年数: n.s
男性看護師として今後どのような道に進めばよいか悩む	3.49 3.38	3.19 3.50	2.84 3.36	2.17 2.82	年代: 20歳代>30・40・50歳代、30歳代>40・50歳代、40歳代>50歳代以上 年数: 1-2年目・3-5年目・6-10年目>11年目以上
女性看護師に、女性患者のケアや処置の交代を依頼することに申し訳なさを感じる	3.38 3.28	3.06 3.38	2.98 3.18	2.47 2.89	年代: 20歳代>30、40、50歳代、30歳代>50歳代以上、40歳代>50歳代以上 年数: 1-2年目・3-5年目・6-10年目>11年目以上、3-5年目>6-10年目
女性看護師の気持ちを汲み取ることに難しさを感じる	3.06 3.16	2.92 3.10	2.98 2.93	2.86 2.86	年代: 20歳代>30歳代 年数: 1-2年目>6-10年目・11年目以上、3-5年目>6-10年目・11年目以上

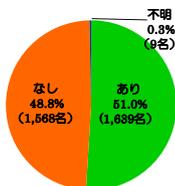
年代群: 20歳代 1113名(34.6%)、30歳代 1383名(43.0%)、40歳代 549名(17.1%)、50歳代以上 158名(4.9%)  
経験年数: 1-2年目 411名(12.8%)、3-5年目 626名(19.5%)、6-10年目 937名(29.1%)、11年目以上 1232名(38.3%)

### 男性看護師数別での比較

項目	1名	2-3名	4-5名	6-10名	11名以上	男性看護師数別比較結果
男性看護師として今後どのような道に進めばよいか悩む	3.17	3.28	3.18	3.08	3.00	2-3名>6-10名・11名以上
女性看護師の中で、中立的立場で働くことに苦労を感じる	2.98	2.94	2.79	2.77	2.59	1名>11名以上、2-3名>6-10名・11名以上
男性である自分がこの先も看護師を続けていけるか不安を感じる	2.78	2.84	2.68	2.61	2.62	2-3名>6-10名
将来の進路について相談できる男性看護師がおらず困る	2.98	2.73	2.59	2.52	2.48	1名>2-3名・4-5名・6-10名・11名以上、2-3名>6-10名
身近にモデルとなる男性看護師がおらず困る	3.00	2.70	2.49	2.45	2.38	1名>2-3名・4-5名・6-10名・11名以上 2-3名>4-5名・6-10名・10名以上

男性看護師数: 1名 388名(12.1%)、2-3名 1107名(34.4%)、4-5名 812名(25.2%)、6-10名 655名(20.4%)、11名以上 239名(7.4%)

### 院内の男性看護師会のような組織の有無での比較



項目	組織あり	組織なし	組織の有無別比較結果
男性看護師として今後どのような道に進めばよいか悩む	3.18	3.19	n.s
女性看護師の中で、中立的立場で働くことに苦労を感じる	2.79	2.91	0.011
男性である自分がこの先も看護師を続けていけるか不安を感じる	2.68	2.78	0.039
将来の進路について相談できる男性看護師がおらず困る	2.54	2.80	0.000
身近にモデルとなる男性看護師がおらず困る	2.48	2.74	0.000

## まとめ

男性看護師が認識する困難感、女性患者や女性看護師に関すること、将来に関する事など様々であり、年代や経験年数によってその程度に差異があることも示唆された。しかし、女性患者や家族の羞恥心を伴う事柄に関することは、年代や経験年数関係なく抱く困難感であり、かつその程度も高いことが示された。一方、男性看護師の複数配置や院内の男性看護師の集まりは、将来への不安や相談相手・モデルがいけないといった困難感を軽減する一助になると考える。